

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立深沢高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成 主任教諭（総務主任兼務）＝事務局長、部員3名（うち主幹教諭1名） 計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任兼務）、主任教諭（進路部主任）、主任教諭（生徒指導部主任兼務） 計6名

(4) 協議委員の構成

学識経験者（大学教授）、PTA会長、PTA役員2名、近隣中学校長、近隣小学校長、警察、地域住民関係（2名）、同窓会関係、区教育委員会 計11名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和4年6月24日（金） 内部委員7名、協議委員9名（欠席2名）事務局3名
対面による開催

送付書類

- ・発令通知書の交付
- ・令和4年度学校経営報告
- ・令和5年度学校経営計画
- ・事務連絡（委嘱状交付、年間日程など）

第2回 令和4年10月13日（木） 内部委員7名、協議委員9名（欠席2名）事務局3名
対面による開催

送付書類

- ・学校要覧
- ・令和4年度授業評価アンケート（案）
- ・令和4年度学校評価アンケート（案）
- ・現状報告および深沢 NEWS

第3回 令和5年2月14日（火） 内部委員7名 協議委員6名（欠席3名）事務局3名
対面による開催

送付書類

- ・令和4年度授業評価アンケート（結果）
- ・令和4年度学校評価アンケート（結果）
- ・現状報告および深沢 NEWS

(2) 評価委員会の開催日時、内容、その他

第1回 令和4年10月13日（木）

第2回 令和5年 2月14日（火）

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討

3. 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

学校経営計画の評価の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月	全校生徒	450人	回収実績	321人
・12月	保護者	450世帯	回収実績	102人
・12月	教職員	42人	回収実績	36人
・12月	地域	50世帯	回収実績	15人

(3) 主な評価項目

・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備等

(4) 評価結果の概要

《R4 学校評価について》

今年度よりアンケート内容を一新しています。今回のアンケート結果を基準に今後数値が良い形になるように検討をしていきます。

【生徒・保護者ポイント】

(1) 学校を通うことが楽しい（肯定的意見）

生徒 78%・保護者 82%

(2) 将来にとって意味があるか（肯定的意見）

生徒 79%・保護者 71%

(4) 学校の特色がありますか？（肯定的意見）

生徒 62%・保護者 42%

(12) 資格取得に関する授業（肯定的意見）

生徒 60%・保護者 42%

●質疑回答：来年度より 東京都の指定校として「ステップアップ推進校」となる予定です。

内容①：英語検定・MOS 検定の受験講座（夏休み期間）

例：英検 4級・3級 →45分授業×4回（週2回）

コンピュータ講座 →5日間の集中講座

（英語・コンピュータ技術の習得）

内容②：夏休み期間中の3日間インターンシップ

希望者に対して、独自の企業体験を検討

（ディズニーアカデミーとTGG（東京グローバルゲートウェイ）

(9) 遅刻防止などの指導、役にたっているか（肯定的意見）

生徒 60%・保護者 55%

(10) 頭髪、服装などの指導、役にたっているか（肯定的意見）

生徒 59%・保護者 53%

(16) 学校生活の悩み、気軽に先生に相談（肯定的意見）

生徒 65%・保護者 55%

●質疑回答：新型コロナウイルス感染症の影響もあり、体調不良などをはじめとした関係の欠席、

遅刻、早退が新型コロナ前よりも増加の傾向にあります。来年度より新たな規定を設け、出席停止や欠席、遅刻等を通常どおりの形に戻す方向にあります。その点や出席停止の取り決めを早めに生徒に周知するとともに、欠席連絡の方式も変更を検討しています。詳細が分かり次第お知らせします。（保護者→学校の直通のメールアドレス設定など）

現在、毎週木曜日にカウンセラーを配置するとともに放課後等に自然と相談できる体制を整備している。その点も踏まえて、今後対応していく。

(19) 教室やグラウンドの施設の充実 (肯定的意見)

生徒 56% ・ 保護者 47%

●質疑回答：深沢高校はオリンピック前には、改築の事業に上がっていたが、オリンピック等の順延影響により改築ができなくなる経緯があります。修繕や備品等で整備していく。

(23) 授業以外にどれくらい勉強しているか？ 9月平均

- 1 4時間以上 → 7%
- 2 3時間以上 → 13%
- 3 2時間以上 → 15%
- 4 1時間以下 → 65%

となっています。週末課題や授業課題などを出しています。

教科によって異なりますが、90%程度の提出率は出ています。

【教員ポイント】

(6) わかりやすい授業について

生徒 73% (肯定的) ・ 27% (否定的)

保護者 34% (肯定的) ・ 66% (否定的)

教員 100% (肯定的) ・ 0% (否定的)

●質疑応答：上記による項目別の感じ方が異なる点に注目していかなければならないでしょう。まずは、保護者への授業の内容を知る機会を検討しなければなりません。本年度2回の授業公開に参加いただける保護者が少ない点も検討しなければならない点と考えています。

◆その他：体罰、いじめ、災害時など対応できるようにしている。また、生徒への相談できる体制など整備していく予定です。

4. 学校運営連絡協議会の成果と課題 (学校の自己評価へ反映)

学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・ホームページはあるが、保護者への緊急時の連絡や、重要な情報の発信にはまだ課題が見られる。TEAMSの活用や、情報発信方法の周知に力を入れて取り組んでいく。
- ・感染症への迅速な対応や、路上清掃活動など、学校で取り組んでいることについて理解を得られた。
- ・部活を通して、今までにない経験や家で行き届かない指導をしていただき、有難いというご意見をいただいた。感染症に留意しながらも、継続的に指導を続けていくことがこれからの課題である。

5. 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項 (学校経営計画へ反映)

(1) 学校運営

- ・学校がさらに良くなるように、今まで成果が上がっている取組の継続と新たな取組を実践し、地域、保護者との連携を強化して問題・課題の解決を図る。

(2) 学習指導

- ・基礎的な学力定着に重点を置き、そのためのよりよい指導方法の工夫・改善を行う。

(3) 特別活動

- ・より一層の部活動活性化のため生徒に寄り添った指導を行うこと、多角的・多面的に評価する等の方策を工夫し、学校全体が活性化するよう取組む。

(4)生活指導

- ・頭髪指導、服装指導等の身だしなみ指導、挨拶、遅刻防止指導は学校全体として継続して行う。

(5)進路指導

- ・3年間を見通したキャリア教育を実施し、さらに充実させる。1年次に基礎を築き、2年次からの進路指導により力を入れていく。
- ・生徒、保護者が希望する進路実現に学校全体で対応していく。保護者会の参加率を上げて、直接話す機会の確保、TEAMSなどのICTを活用した情報の発信を積極的に行う。そして学校・家庭間の連携をうまくとることができるようにする。

(6)健康・安全

- ・支援が必要な生徒に対し、特別支援コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラーの校内相談体制の確立を図りより有効な対応を進めていく。
- ・感染症対策にも、引き続き取り組む。

(7)その他

- ・地域への情報発信の方法について、よりよい方法を模索する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1)協議委員人数 11人

(2)学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
—	—	—	—	—	—

※新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本年度は調査見送り

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 なし 【成果】 なし

8 その他

特記事項なし